

事務事業評価調書

事務事業名	行政経営推進事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年	改正内容	平成23年6月に吹田市市政アドバイザー設置要領を改正し、市政特別アドバイザー及び市政改革アドバイザーを市政アドバイザーに一本化するとともに、守秘義務規定と謝礼規定を追加。											
(2) 直近の改正	平成23年													
(3) 根拠法令等	市政への助言事業実施要領 吹田市市政アドバイザー設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	3	細節	0							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	職員											
	結果(どのような効果が得られるのか)	政策立案のための各種助言を得ることにより職員の資質向上を図り、迅速で質の高い行政をめざす。												
(7) 事業概要	市政の様々な分野に関するテーマで、外部有識者から専門的知識や貴重な経験に基づく有意義な助言を得て、市政運営に役立てる。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		242	101	242	0	121							
	人件費	職員数	人	1.50	1.50	1.50	0.00	0.10						
		総額(B)	千円	12,450	11,921	12,528	0	817						
	総事業費(A+B)		12,692	12,022	12,770	0	938							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		12,692	12,022	12,770	0	938						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		12,692	12,022	12,770	0	938								
財源計(C+D)		12,692	12,022	12,770	0	938								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 講演会の開催や市政アドバイザーによる助言を受ける場を設定。	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	2.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値は設定しない。実績値は市政アドバイザーが参加する「行政の維新プロジェクト」マネジメントチーム会議の開催回数(参考)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6,011.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	6,011.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	外部有識者から有意義な助言を得る機会を設ける。			目標	外部有識者から市政運営に役立つ確かな助言を得る。
	②	成果内容	外部有識者から得た助言を市政運営に活かす。			達成状況	外部有識者の意見を参考にしながら、行政改革の推進をはじめ、時代に即応した市政運営に資する。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>基礎自治体として、外部有識者から助言を得ることは、時代に即応した市政運営・市政改革を図っていく上で重要であるが、そうした機会は、人事室職員研修担当による多様な研修や、各部署主催のテーマごとの研修や講演会等の充実が図られる中、一定確保されている状況にある。</p> <p>こうした状況を受け、平成27年度においては、本事業による講演会の開催や、アドバイザーを選任し助言を受ける場の設定は必要がなかったことから、本事業の実施意義は薄れているものとする。よって、本事業は平成28年度をもって廃止する。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行政経営推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00064				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	10	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	60	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00064
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は講演会形式を中心に実施してきたが、平成23年度からはより時代に即した市政運営・市政改革を進めるため、外部有識者をアドバイザーと位置づけ、アドバイザーから得た貴重な助言を市政運営の参考とすることに重点を置いている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	行政評価実施事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和14年度	改正 内容	内部委員と学識経験者等が意見交換することで、より客観的な評価を行うため、行政評価委員会と外部評価会議を統合した。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市行政評価実施要領、吹田市行政評価委員会設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市が実施する全施策・全事務事業											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	客観的な評価基準に基づいて分析・評価し、事業の課題等も含め今後の事業のあり方を示す。												
(7) 事業概要	<p>全施策及び全事務事業について、担当所管による1次評価(自己評価)を実施し、それらの中から選定された施策及びそれを構成する事務事業については、行政評価委員会による2次評価を実施する。</p> <p>また、2次評価においては、客観性・透明性の確保のため、学識経験者及び有識者による専門的な見地からの意見や助言をいただき、それらを踏まえた2次評価結果とする。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	5	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		128	102	103	111	205							
	人件費	職員数	人	2.25	2.50	2.50	2.50	2.30						
		総額(B)	千円	18,675	19,868	20,880	20,880	18,791						
	総事業費(A+B)		18,803	19,970	20,983	20,991	18,996							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		18,803	19,970	20,983	20,991	18,996							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		18,803	19,970	20,983	20,991	18,996								
財源計(C+D)		18,803	19,970	20,983	20,991	18,996								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 行政評価1次評価実施施策数	目標値	(単位:施策)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:施策)	101.00	105.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 評価対象の全施策において実施するため、目標設定になじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	197.72	199.91		
			一般財源(単位:千円)	197.72	199.91		
	②	指標内容 行政評価2次評価実施施策数	目標値	(単位:施策)	0.00	0.00	
実績値			(単位:施策)	7.00	5.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法 選定基準にもとづき選定した事業を対象とするため、目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,852.86	4,198.20			
		一般財源(単位:千円)	2,852.86	4,198.20			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	事業の優先順位を検証し、真に必要な市民サービスを持続的に提供する。		達成状況	適切に分析・評価を行うことにより、より効果的な行政運営に寄与している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>PDCAマネジメントサイクルを確立するために、この事業は重要な位置付けであり、必要不可欠なものである。</p> <p>外部評価については、内部組織の行政評価委員会と統合することで、より客観性を高めた評価を行うように変更した。今後、「市民自治の推進に向けたアクションプラン」の提言である市民参画の推進を図る。</p> <p>また、新公会計制度と相互補完しながら、より効果的な分析・評価を行うための取組が必要である。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行政評価実施事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00065				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00065
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度は、行政評価委員会と行政評価外部評価会議を統合して開催し、学識経験者及び有識者との直接の意見交換を可能にし、より効果的な行政評価の実施を図った。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>各市においても効果的・効率的な行政運営の推進のため、行政評価を実施している。本事業は、目標及び成果を指標として表すことは難しいが、市が実施するすべての事業の優先順位付けを行うための基本となるものであり、また、実施計画策定事業と併せて、PDCAマネジメントサイクルの確立に必要な事業であることから、その重要度は大変高いものである。ただし、外部評価については最適な実施方法や回数、公募市民の参画などについて改善の余地がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	財政事務事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方自治法、吹田市財務規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市財政											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	将来世代に過度な負担を残すことなく、健全で持続可能な財政運営を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な施策を継続するとともに、新たな課題にも対応することができる。												
(7) 事業概要	市の各種施策を実施するための予算措置を行い、予算が適正に執行されているかどうかを管理するとともに、地方交付税に関する事務等、吹田市の財政全般に関する事務を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	11	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,262	3,659	4,527	3,302	4,445							
	人件費	職員数	人	12.77	12.60	12.79	12.79	13.80						
		総額(B)	千円	105,991	100,133	106,823	106,823	112,746						
	総事業費(A+B)		111,253	103,792	111,350	110,125	117,191							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		111,253	103,791	111,350	110,125	117,191							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		111,253	103,791	111,350	110,125	117,191								
財源計(C+D)		111,253	103,791	111,350	110,125	117,191								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計・特別会計当初予算額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	92,853,240.00	8,014,183.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 経常収支比率	目標値	(単位:%)	95.00	95.00	/
			実績値	(単位:%)	96.40	0.00	
			達成度(%)		101.5	0.0	
	目標値の積算方法 「第2期財政健全化計画前期計画」に掲げられた目標値である95%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,090.38	0.00		
			一般財源(単位:千円)	1,090.38	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>厳しい財政状況が続くなか、国・府補助金の獲得など、歳入の確保に努めるとともに、各種施策に係る事業費を精査し、効果的な財源配分を行う必要がある。</p> <p>必要な施策を継続するとともに、新たな課題にも対応できるよう、予算編成、予算執行管理、決算分析を適切に行いながら、将来世代に過度の負担を残すことなく、健全で持続可能な財政運営を図る。</p> <p>* なお、上記の成果指標については、平成26年度の達成度が101.5%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である98.5%となり、目標には達していない。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	財政事務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00066				

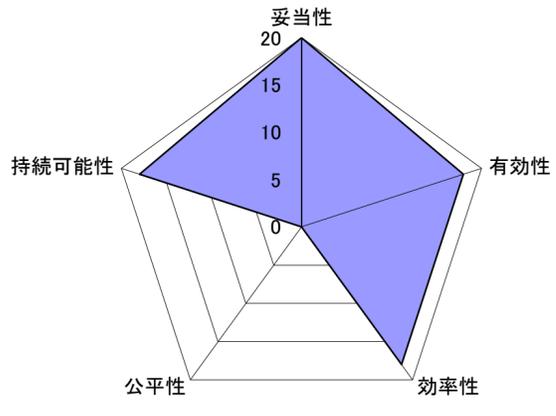
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00066
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度決算においても、平成25年度決算に引き続き、赤字地方債の発行や財政調整基金の取崩しを行わずに実質収支が黒字となり、赤字体質からの脱却に一定の目途がついた。ただし、今後、人口減少社会を迎える中で、生産年齢人口の減少などに伴い、市税収入の大幅な増収を見込むことができない一方、高齢化などによって社会保障関係経費が増加することや、大規模な公共事業の実施が予定されており、現在の財政状況のもとでは、市民サービス水準を維持することが困難となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和47年度	改正内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	吹田市交通共済・火災等共済条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	交通災害・火災等共済特別会計												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	交通災害・火災等共済への加入に係る市負担分について繰出しを行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	交通災害・火災等特別会計の財政基盤の安定を図り、交通災害・火災等共済制度の健全運営につながる。													
(7)	事業概要	吹田市交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入に係る市負担分及び吹田市火災共済への生活保護受給世帯の加入に係る市負担分について一般会計から交通災害・火災等共済特別会計に繰出しを行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	12	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,227	3,791	4,337	3,851	4,314							
		人件費	職員数	0.01	0.02	0.01	0.01	0.11							
			総額(B)	83	159	84	84	899							
		総事業費(A+B)		4,310	3,950	4,421	3,935	5,213							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		4,310	3,950	4,421	3,935	5,213							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	4,310		3,950	4,421	3,935	5,213									
財源計(C+D)		4,310	3,950	4,421	3,935	5,213									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,791.00	3,851.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.14	1.02		
				一般財源(単位:千円)	1.14	1.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	交通災害・火災等共済特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	45,784.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.09	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.09	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入にかかる減額免除分及び火災等共済への生活保護受給世帯の加入にかかる1口分の加入金については、吹田市交通災害・火災等共済条例において市の負担となっており、これに基づき繰出しを行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00067				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00067
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入にかかる減額免除分及び火災等共済への生活保護受給世帯の加入にかかる1口分の加入金については、吹田市交通災害・火災等共済条例において市が負担することとなっており、交通災害・火災等共済制度の財政基盤の安定を図り、健全に運営していくためにも一般会計からの繰出しが必要であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	財政調整基金積立事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成元年	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方自治法、吹田市財政調整基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	財政調整基金											
	結果(どのような効果が得られるのか)	経済事情の変動等による財源不足に備えて基金を積み立てる。 年度間の財源の不均衡を調整することで安定した財政運営を行うことができる。												
(7) 事業概要	年度間の財源の不均衡を調整するために一般財源の剰余金等を基金に積み立てる。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	22	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		246	1,018,469	153	555,689	139							
	人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.11						
		総額(B)	千円	83	159	84	84	899						
	総事業費(A+B)		329	1,018,628	237	555,773	1,038							
	特定財源(C)		246	1,058	153	187	139							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		246	1,058	153	187	139						
	市負担(D)		83	1,017,570	84	555,586	899							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		83	1,017,570	84	555,586	899								
財源計(C+D)		329	1,018,628	237	555,773	1,038								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 財政調整基金積立額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	1,018,469.00	555,689.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.00		
			一般財源(単位:千円)	1.00	1.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 財政調整基金残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	10,188,298.00	8,743,987.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.10	0.06		
			一般財源(単位:千円)	0.10	0.06		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方財政法により、一般会計の剰余金の2分の1以上を基金として積立てなければならないと規定されていることと、経済情勢の悪化などによる財源不足に備えるためにも、積立を今後も継続して行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	財政調整積立基金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00068				

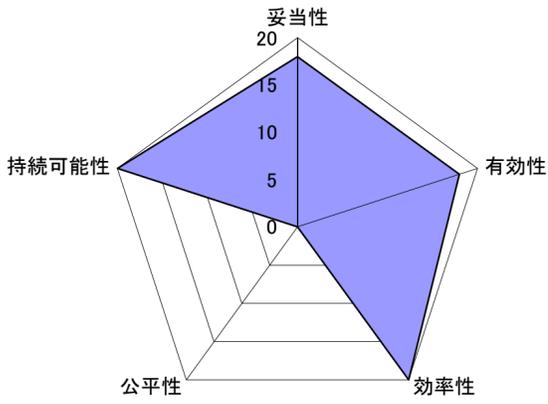
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00068
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方財政法により、一般会計の剰余金の2分の1以上を基金として積み立てなければならないと規定されていることと、経済情勢の悪化などによる財源不足に備えるためにも、積立を今後も継続して行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	介護保険特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化をめざす考え方を踏まえた法律の一部改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		介護保険事業に従事する職員人件費及び事務費等に対する繰出し											
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金及び事業費等について一般会計から繰出しを行う。												
(7) 事業概要	介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金及び事務費等について、介護保険事業の財政基盤の安定を図るために一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	12	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,362,706	3,137,943	3,541,262	3,439,213	3,649,308							
	人件費	職員数	人	0.01	0.04	0.01	0.01	0.11						
		総額(B)	千円	83	318	84	84	899						
	総事業費(A+B)		3,362,789	3,138,261	3,541,346	3,439,297	3,650,207							
	特定財源(C)		0	0	8,899	49,977	43,989							
	(内訳)	国		0	0	8,899	36,284	30,495						
		府		0	0	0	13,693	13,494						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,362,789	3,138,261	3,532,447	3,389,320	3,606,218							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,362,789	3,138,261	3,532,447	3,389,320	3,606,218								
財源計(C+D)		3,362,789	3,138,261	3,541,346	3,439,297	3,650,207								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,137,943.00	3,439,213.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.00		
			一般財源(単位:千円)	1.00	0.99		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 介護保険特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	379,305.00	292,383.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8.27	11.76		
			一般財源(単位:千円)	8.27	11.59		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金については、介護保険法に基づく繰出しであること、また、事務費等についても介護保険特別会計の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	介護保険特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00069				

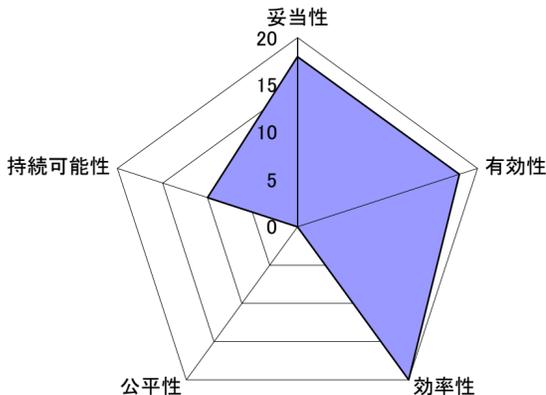
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00069
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金については、介護保険法に基づく繰出しであること、また、事務費等についても介護保険制度の健全な運営のために繰出しを行う必要があると考えているが、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	後期高齢者医療特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		後期高齢者医療事業に従事する職員人件費及び事務費等に対する繰出し											
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	後期高齢者特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保険基盤安定負担金及び事務費等について一般財源から繰出しを行う。 後期高齢者医療特別会計の財政基盤の安定を図り、後期高齢者医療制度を健全に運営することができる。												
(7) 事業概要	保険基盤安定負担金及び事務費等について、被保険者の保険料負担を緩和するとともに後期高齢者医療事業の財政基盤の安定を図るために一般会計から後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	17	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		761,075	749,499	862,452	848,610	879,829							
	人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.11						
		総額(B)	千円	83	159	84	84	899						
	総事業費(A+B)		761,158	749,658	862,536	848,694	880,728							
	特定財源(C)		453,750	453,157	480,128	488,769	531,925							
	(内訳)	国		0	0	3,529	3,529	1,423						
		府		453,750	453,157	476,599	485,240	530,502						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		307,408	296,501	382,408	359,925	348,803							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		307,408	296,501	382,408	359,925	348,803								
財源計(C+D)		761,158	749,658	862,536	848,694	880,728								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	749,499.00	848,610.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にははじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.01	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.41	0.42	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にははじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	後期高齢者医療特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00
	実績値			(単位:千円)	127,075.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にははじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.98	0.00	
				一般財源(単位:千円)		2.41	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にははじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容		目標				
②	成果内容		達成状況					
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		保険基盤安定負担金については、高齢者の医療の確保に関する法律による繰出しであること、また、事務費等についても後期高齢者医療特別会計の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。						

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	後期高齢者医療特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00070				

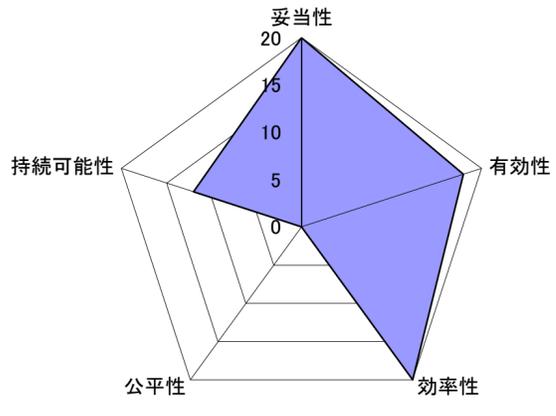
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00070
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保険基盤安定負担金については、高齢者の医療の確保に関する法律による繰出しであること、また、事務費等についても後期高齢者医療制度の健全な運営のために繰出しを行う必要があると考えているが、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	国民健康保険特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和39年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	国民健康保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		国民健康保険特別会計の赤字解消分及び保険料の減免・給付事業のうち市の基準に基づくものに対する繰出し。											
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	国民健康保険特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	国民健康保険特別会計の財政基盤の安定を図り、国民健康保険制度を健全に運営することができる。												
(7) 事業概要	保険基盤安定負担金及び保険料の減免分並びに事務費等について、被保険者の保険料負担を緩和するとともに累積赤字を解消して国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るために一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	6	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,780,693	3,934,142	3,829,523	4,034,881	3,995,451							
	人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.11						
		総額(B)	千円	83	159	84	84	899						
	総事業費(A+B)		3,780,776	3,934,301	3,829,607	4,034,965	3,996,350							
	特定財源(C)		1,130,250	1,210,380	1,482,938	1,593,447	1,618,282							
	(内訳)	国		121,500	131,624	302,188	375,389	372,032						
		府		1,008,750	1,078,756	1,180,750	1,218,058	1,246,250						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,650,526	2,723,921	2,346,669	2,441,518	2,378,068							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,650,526	2,723,921	2,346,669	2,441,518	2,378,068								
財源計(C+D)		3,780,776	3,934,301	3,829,607	4,034,965	3,996,350								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,934,142.00	4,034,881.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.69	0.61	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	国民健康保険特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	-2,866,721.00	0.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		-1.37	0.00	
				一般財源(単位:千円)		-0.95	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		国民健康保険特別会計が抱える累積赤字を解消し、国民健康保険制度を健全に運営していくために繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	国民健康保険特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00071				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00071
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保険基盤安定負担金及び保険料の減免分並びに事務費等について繰出しを行うことは、被保険者の保険料負担の緩和、累積赤字の解消及び国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るために必要であると考え、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	勤労者福祉共済特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市勤労者福祉共済基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	勤労者福祉共済特別会計											
	結果(どのような効果が得られるのか)	勤労者福祉共済事業に係る人件費について、一般会計から繰出しを行う。												
(7) 事業概要	勤労者福祉共済制度の健全な運営のため、勤労者福祉共済事業に係る人件費について一般会計から勤労者福祉共済特別会計に繰出しを行う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	5	項	1	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		8,958	4,672	9,115	5,956	9,333							
	人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.11						
		総額(B)	千円	83	159	84	84	899						
	総事業費(A+B)		9,041	4,831	9,199	6,040	10,232							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		9,041	4,831	9,199	6,040	10,232							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		9,041	4,831	9,199	6,040	10,232								
財源計(C+D)		9,041	4,831	9,199	6,040	10,232								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値 (単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:千円)	4,672.00	5,956.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.03	1.01	
				一般財源(単位:千円)	1.03	1.01	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	勤労者福祉共済特別会計実質収支額	目標値 (単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:千円)	17,780.00	19,169.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.27	0.32	
				一般財源(単位:千円)	0.27	0.32	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		繰出金額が適正な金額となるよう担当課と協議を行った上で、今後も繰出しを行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	勤労者福祉共済特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00072				

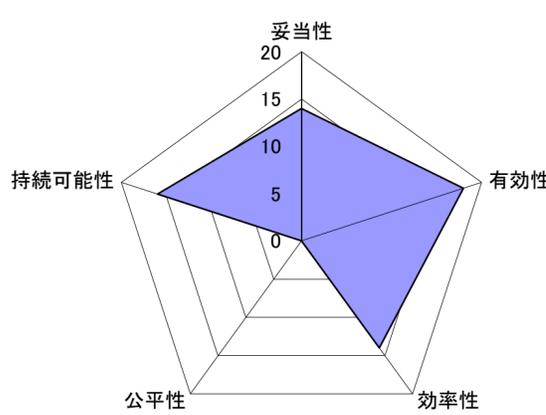
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00072
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>勤労者福祉共済制度の健全な運営のためには、引き続き一般会計からの繰出しが必要であるが、繰出金額が過大とならないように担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	下水道特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和39年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方公営企業法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	下水道特別会計											
	結果(どのような効果が得られるのか)	下水道事業に係る元利償還金及び施設の維持等に係る経費について一般会計から繰出しを行う。												
(7) 事業概要	下水道事業に係る元利償還金及び施設の維持等に係る経費について一般会計から下水道特別会計に繰出しを行う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,600,828	3,579,444	3,578,541	3,550,013	3,496,005							
	人件費	職員数	人	0.01	0.04	0.01	0.01	0.11						
		総額(B)	千円	83	318	84	84	899						
	総事業費(A+B)		3,600,911	3,579,762	3,578,625	3,550,097	3,496,904							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,600,911	3,579,762	3,578,625	3,550,097	3,496,904							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		100,000	100,000	100,000	0	100,000						
一般財源		3,500,911	3,479,762	3,478,625	3,550,097	3,396,904								
財源計(C+D)		3,600,911	3,579,762	3,578,625	3,550,097	3,496,904								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	線出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,579,444.00	3,550,013.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.00		
				一般財源(単位:千円)	0.97	1.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	下水道特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	819,504.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.37	0.00		
				一般財源(単位:千円)	4.25	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成29年度から地方公営企業法の一部適用により、本事業については平成28年度をもって終了となるが、今後は下水道事業会計負担金事業として、下水道事業会計に係る運営経費の一部を負担する予定である。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	下水道特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00073				

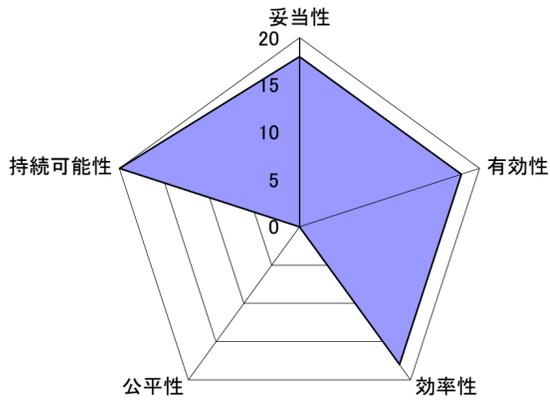
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00073
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく繰出しであることと、下水道事業を健全に運営していくためにも繰出しを行うことは必要であると考え、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	元金償還事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市債											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	計画的に償還し、市債の新規発行を抑制することにより市債総額を減少させる。 市債総額が減少することによって将来世代への負担を軽減することができる。												
(7) 事業概要	公共施設の建設等に係る費用について世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債及び地方税の減税・減収に伴う財源不足を補うために発行する赤字地方債の元金について、償還計画に基づいて償還する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	11	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,841,966	5,855,156	4,947,620	4,961,405	4,855,296							
	人件費	職員数	人	0.05	0.10	0.05	0.05	0.55						
		総額(B)	千円	415	795	418	418	4,494						
	総事業費(A+B)		5,842,381	5,855,951	4,948,038	4,961,823	4,859,790							
	特定財源(C)		906	474	1,004	1,004	608							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		906	474	1,004	1,004	608						
	市負担(D)		5,841,475	5,855,477	4,947,034	4,960,819	4,859,182							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,841,475	5,855,477	4,947,034	4,960,819	4,859,182								
財源計(C+D)		5,842,381	5,855,951	4,948,038	4,961,823	4,859,790								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	一般会計債残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	46,500,211.00	45,941,306.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.13	0.11	
				一般財源(単位:千円)		0.13	0.11	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	公債費負担比率	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	8.40	0.00		
		達成度(%)			84.0	0.0		
	目標値の積算方法	第2期財政健全化計画(案)前期計画にかかげられている目標である10%を目標値に設定した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		697,089.76	0.00	
				一般財源(単位:千円)		697,033.33	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>既発行債については順次償還していく必要があるため、本事業は今後も継続して行っていく。</p> <p>* なお、上記の成果指標については、達成度が平成26年度は84.00%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である119.05%となり、目標を上回っている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	元金償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00075				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00075
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>市債については、将来世代への負担の先送りをしないため、赤字地方債の発行を抑制するとともに、建設事業債については、元金償還額以下での発行を基本としており、今後も適切な発行管理に努める必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	長期債利子償還事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	吹田市市債条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市債												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	計画的に償還し、市債の新規発行を抑制することにより市債総額を減少させる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市債総額が減少することによって将来世代への負担を軽減することができる。													
(7)	事業概要	公共施設の建設等に係る費用について世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債及び地方税の減税・減収に伴う財源不足を補うために発行する赤字地方債の利子について、償還計画に基づいて償還する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	11	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		741,157	671,209	672,437	566,817	559,636							
		人件費	職員数	人	0.02	0.04	0.02	0.02	0.22						
			総額(B)	千円	166	318	168	168	1,798						
		総事業費(A+B)		741,323	671,527	672,605	566,985	561,434							
		特定財源(C)		563	540	526	526	600							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	563	540	526	526	600							
		市負担(D)		740,760	670,987	672,079	566,459	560,834							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	740,760		670,987	672,079	566,459	560,834									
財源計(C+D)		741,323	671,527	672,605	566,985	561,434									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計債残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	46,500,211.00	45,941,306.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.01	0.01		
			一般財源(単位:千円)	0.01	0.01		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 公債費負担比率	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	/
			実績値	(単位:%)	8.40	0.00	
			達成度(%)		84.0	0.0	
	目標値の積算方法 第2期財政健全化計画(案)前期計画に掲げられている目標である10%を目標値に設定した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	79,924.76	0.00		
			一般財源(単位:千円)	79,860.48	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		既発行債については順次償還していく必要があるため、本事業は今後も継続して行っていく。 * なお、上記の成果指標については、達成度が平成26年度は84.00%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である119.05%となり、目標を上回っている。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	長期債利子償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00076				

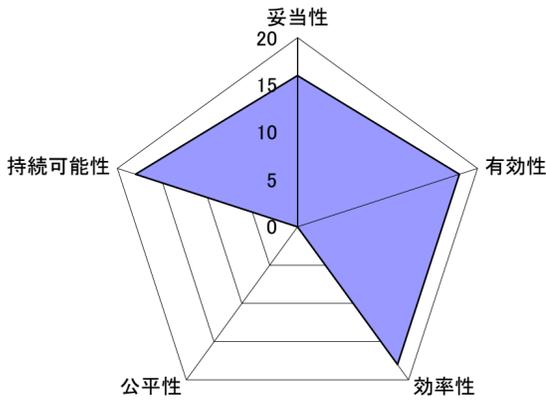
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00076
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市債については、将来世代への負担の先送りをしないため、赤字地方債の発行を抑制するとともに、建設事業債については、元金償還額以下での発行を基本としており、今後も適切な発行管理に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	一時借入金利子償還事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	吹田市市債条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般会計											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	一般会計の支払資金に一時的に不足が生じた際、基金や金融機関等から資金を借入れ、支払資金の不足を補う。												
(7)	事業概要	歳入予算の収入の時期と歳出予算の支出の時期のずれにより、一般会計の支払資金に一時的に不足が生じる場合に基金や金融機関等から資金を借入れ、その際に発生する利子を支払う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	11	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		527	23	527	106	527							
		人件費	職員数	人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.22						
			総額(B)	千円	166	159	168	168	1,798						
		総事業費(A+B)		693	182	695	274	2,325							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		693	182	695	274	2,325							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			693	182	695	274	2,325								
財源計(C+D)		693	182	695	274	2,325									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一時借入金累計額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	1,200,000.00	7,800,000.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 一時借入金利子額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	23.00	106.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.91	2.58		
			一般財源(単位:千円)	7.91	2.58		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		収入と支出の時期のずれによる支払資金の不足については、市の各種事業に係る経費の支出を遅滞なく行うためにも速やかに解消する必要があるため、基金や金融機関などからの一時的な資金の借入れを今後も必要に応じて行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	一時借入金利子償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00077				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00077
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歳計現金の一時的な支払資金の不足については、歳入予算の収入の時期と歳出予算の支出の時期にずれがあるため、毎年ほぼ決まった時期に発生している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公債費管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	証券発行形式で起債された市債											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	証券の購入者、購入金額の把握など市債を適切に管理する。												
(7) 事業概要	証券発行方式で行った起債に係る証券の発行・管理に係る手数料を支払う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	11	項	1	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		107	0	107	0	107							
	人件費	職員数	0.01	0.00	0.01	0.00	0.11							
		総額(B)	83	0	84	0	899							
	総事業費(A+B)		190	0	191	0	1,006							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		190	0	191	0	1,006							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		190	0	191	0	1,006								
財源計(C+D)		190	0	191	0	1,006								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	起債額のうち市中銀行からの借入額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	191,000.00	790,400.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	証券発行方式での起債額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市債を起債する際には普通貸借方式での起債を行っているが、市場のニーズ、財政事情の変化などにより、証券発行方式で起債を行う可能性もあるため、証券発行方式での起債に備えて、今後も予算計上を行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	公債費管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00078				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	8	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00078
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	18	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	18														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>現在、市債の起債には政府や府、市中銀行などから直接借入を行う普通貸借方式での起債を行っているため、本事業での予算執行は行われていない。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公共施設等整備積立基金事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和52年	改正内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	吹田市積立基金条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共施設等整備基金												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公共施設等の整備・最適化のために積み立てる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	経費の支出が整備事業の実施年度にのみ集中することを防止することで財政運営への影響を最小限に抑えることができる。													
(7)	事業概要	公共施設等を整備する際に必要となる経費を積み立てる。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	12	項	2	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		100,000	2,598,998	0	0	0							
		人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	83	159	0	0	0						
		総事業費(A+B)		100,083	2,599,157	0	0	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		100,083	2,599,157	0	0	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			100,083	2,599,157	0	0	0								
財源計(C+D)		100,083	2,599,157	0	0	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 公共施設等整備基金積立額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	2,598,999.00	1,600,016.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	1.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 公共施設等整備基金残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	2,457,999.00	3,658,013.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.06	0.00		
			一般財源(単位:千円)	1.06	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公共施設の整備に係る費用負担を複数年度に分散し、財政運営への影響を最小限に抑える必要があるため、今後も基金の積立てを行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	公共施設等整備積立基金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00079				

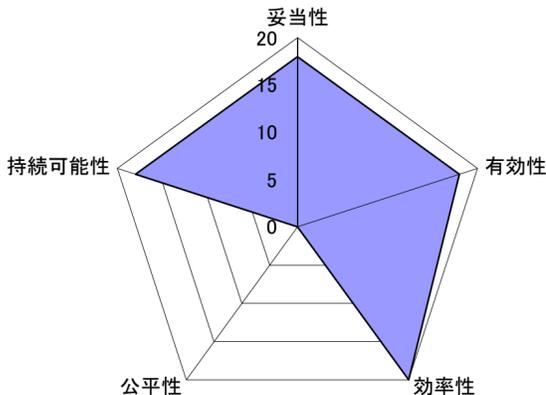
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00079
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小・中学校校舎の大規模改造や公共施設の最適化による整備計画があり、今後の経費支出に備えて引き続き財源を確保する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	予備費管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	地方自治法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般会計											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	不測の事態の発生で緊急に予算外の支出又は予算超過の支出を行わなければならない場合に速やかに予算の執行を行うことができる。												
(7)	事業概要	不測の事態の発生に伴って緊急に予算外の支出又は予算超過の支出を行わなければならない場合に備えて予備費を設ける。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	13	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30,000	0	30,000	0	30,000							
		人件費	職員数	0.02	0.00	0.02	0.00	0.22							
			総額(B)	166	0	168	0	1,798							
		総事業費(A+B)		30,166	0	30,168	0	31,798							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		30,166	0	30,168	0	31,798							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	30,166		0	30,168	0	31,798									
財源計(C+D)		30,166	0	30,168	0	31,798									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 予備費予算計上額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	30,000.00	30,000.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 予備費充当金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	300.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方自治法上、歳入歳出予算に計上しなければならないと規定されており、また、不測の事態に迅速に対応するためにも、今後も引き続き予備費の予算計上を行う。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	予備費管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00080				

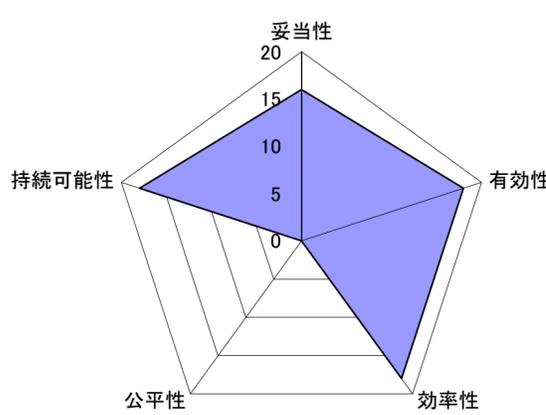
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00080
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>台風等自然災害による不測の事態に対応するための財源として一定金額を確保しておくことは必要であると考えており、今後も引き続き予備費の予算計上を行う。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	上水道事業会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	地方財政法、地方公営企業法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	水道事業会計												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	水道事業の経営の安定を図るために、一般会計から繰出しを行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	水道事業の経営の安定を図ることができる。													
(7)	事業概要	地方公営企業法及び地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく経費について、一般会計から水道事業会計に繰出しを行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	3	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30,000	39,128	0	8,940	0							
		人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	83	159	0	0	0						
		総事業費(A+B)		30,083	39,287	0	8,940	0							
		特定財源(C)		30,000	30,000	0	0	0							
		(内訳)	国	30,000	30,000	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		83	9,287	0	8,940	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	83		9,287	0	8,940	0									
財源計(C+D)		30,083	39,287	0	8,940	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額		目標値 (単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:千円)			39,128.00	8,940.00	
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.24	1.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容			目標値 (単位:)	0.00	
実績値 (単位:)					0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	水道事業会計貸借対照表剰余金合計額		目標値 (単位:千円)	0.00	0.00
	実績値 (単位:千円)				6,439,027.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容			目標値 (単位:)	0.00	0.00
実績値 (単位:)					0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		今後の繰出金額については総務省通知に掲げられている繰出基準及び水道事業の経営状況等を考慮し、適正な金額となるよう担当課と協議を行っていく。						

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	上水道事業会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00081				

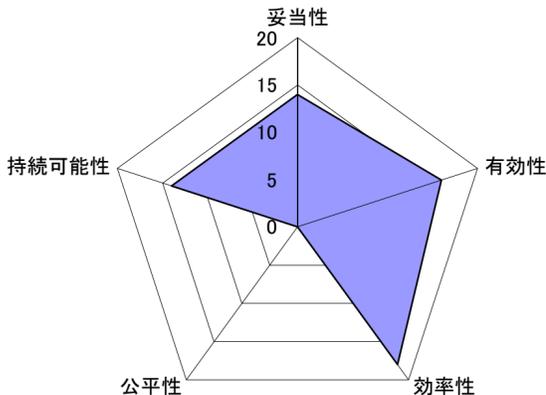
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00081
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度については、地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出しのみで、地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく繰出しである。 繰出金額については水道事業の経営状況等も考慮し、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	行財政改革推進事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	なし						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 8	基本計画推進のために	節 4	細節 0			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	市民、議会、行政					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	行財政改革の取組を推進し、自立した自治体としての市政運営基盤を固める。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政課題に効率的・効果的に応え、市民の満足度を高める。						
(7)	事業概要	<p>効率的で効果的な行財政運営を進めるために、行財政改革の取組状況について管理及び検証を行いながら、必要な見直しを図っている。</p> <p>平成27年度の主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使用料・手数料及び自己負担金の見直し ○債権管理の適正化 ○アウトソーシング推進計画の進行管理 						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 2	項 1	目 1	大事業 9	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		2,209	1,771	2,207	1,743	2,157
		人件費	職員数	3.00	3.00	3.00	3.00	2.30
			総額(B)	24,900	23,841	25,056	25,056	18,791
		総事業費(A+B)		27,109	25,612	27,263	26,799	20,948
		特定財源(C)		9	8	9	0	8
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	9	8	9	0	8
		市負担(D)		27,100	25,604	27,254	26,799	20,940
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	27,100		25,604	27,254	26,799	20,940		
財源計(C+D)		27,109	25,612	27,263	26,799	20,948		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	行財政改革の取組状況について管理及び検証を行いながら、必要な見直しを図る。			目標	行財政改革の取組を推進し、自立した自治体としての市政運営基盤を固める。	
	②	成果内容	行政課題に効率的・効果的に応え、市民の満足度を高める。			達成状況	平成27年度は全ての使用料・手数料及び自己負担金の見直しや、債権管理の適正化に取り組んだ。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>効率的で効果的な行財政運営を進めるために、行財政改革の取組状況について管理及び検証を行いながら、必要な見直しを図っている。</p> <p>平成27年度は主に以下のことに取り組み、一定の成果を得た。</p> <p>使用料・手数料及び自己負担金については、受益と負担の公平の確保を目的に、全て見直し、料金設定の適正化を図った。</p> <p>債権の適正管理については、債権管理に関するプロジェクトチーム会議での検討を経て、債権の整理をするとともに、不納欠損処理を実施した。</p> <p>対話と傾聴を重視した事業実施とするため、アウトソーシング推進計画の一部延期を行った。</p> <p>平成28年度、29年度は、指定管理者制度及び外郭団体のあり方について、学識経験者の助言等を受けながら、見直しを行う。</p>					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行財政改革推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01044				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	企画財政室	事務事業番号	01044
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性の評価について、企画段階から市民等の参画については困難と考えるが、市政に関する問題意識を市民と共有していくことは必要であることから、行財政改革の進捗状況を広く公開するとともに、市民ニーズを的確に反映できる仕組みづくりを考えていきたい。</p> <p>有効性の評価について、行財政改革の取り組みの中で掲げてきた数値目標について、一部未達成なものがあり、将来を見据えた持続可能な行財政運営を目指した歳入増加や歳出削減策について、引き続き検討していく必要がある。</p> <p>効率性の評価について、事業の目標が未達成であることから、単位当たりのコストの適正性という評価指標を低くせざるを得ず、今後も目標達成度を高めるとともに、適正なコストで、より効果的な事業運営が図られるよう、取り組んでいきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中核市への移行検討事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	中核市要件が人口30万人以上から20万人以上に変更。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	地方自治法第252条の22													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民、事業者、職員												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	中核市へ移行した自治体の情報等を収集し、中核市移行にかかる課題等の抽出・整理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	中核市への移行に向けた準備を行いつつ、本市にとって中核市への適切な移行時期を検討し、中核市への移行に備えることができる。												
(7) 事業概要	平成18年(2006年)6月7日公布・施行の地方自治法の改正で、中核市要件から面積要件(100km ²)が廃止されたことにより、中核市への移行に関して検討を行っている。中核市市長会には、中核市候補市として加入し、既に中核市へ移行した自治体や本市と同様に中核市への移行を検討している自治体の情報を収集しながら、中核市への移行に向けた準備作業を現在進めている状況である。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	17	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		60	37	60	32	60							
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
		総額(B)	千円	2,075	1,987	2,088	2,088	2,043						
	総事業費(A+B)		2,135	2,024	2,148	2,120	2,103							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,135	2,024	2,148	2,120	2,103							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,135	2,024	2,148	2,120	2,103								
財源計(C+D)		2,135	2,024	2,148	2,120	2,103								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	中核市市長会(中核市候補市30千円)										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00		0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合		①	活動内容	中核市への移行に伴う課題等について、既に中核市へ移行した自治体の情報を収集する。			目標	中核市へ移行した自治体の情報等を収集し、中核市移行にかかる課題等の抽出・整理を行う。
	②	成果内容	中核市へ移行した自治体の情報を収集し、中核市移行の判断材料を揃える。			達成状況	中核市へ移行した自治体から移行に伴う課題等についての情報が得られた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>中核市へ移行することにより、市民生活に身近な福祉、保健衛生、環境、都市計画等の多くの事務権限が市へ移譲され、より一層市民の声を反映した、市民満足度の高い市政を実現することができる。市民満足度の高い市政の実現に向けて、先行市の情報収集に加え、中核市市長会や施行時特例市市長会に積極的に参加し情報交換を行うとともに、庁内において具体的な課題整理を行うなど、中核市への移行に関する検討を更に進めるべきものとする。</p>					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	中核市への移行検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01046				

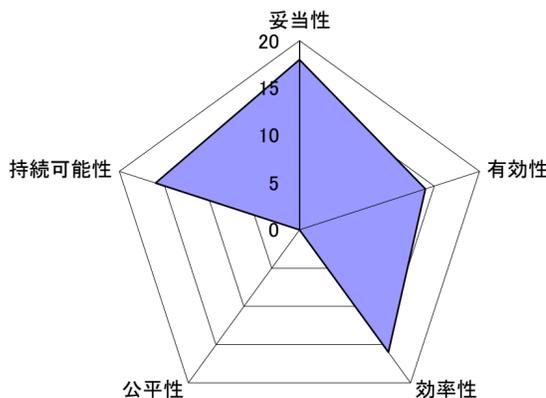
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01046
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	12	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>中核市への移行により可能となる市民生活に身近な行政サービスや本市の財政負担に関する検討を行うことは、中核市移行の前提として必要不可欠なことであり、情報収集や勉強会を行いながら、適切な時期に、よりスムーズに移行をめざす必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年4月1日時点における、全国の中核市は47市あり、府内の中核市は4市(高槻市(平成15年4月1日移行)、東大阪市(平成17年4月1日移行)、豊中市(平成24年4月1日移行)、枚方市(平成26年4月1日移行))あり、堺市は平成8年4月1日に中核市へ移行後、平成18年4月1日に政令指定都市へ移行している。

事務事業評価調書

事務事業名	実施計画策定事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	安井 克之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和56年度	改正内容	実施計画の計画期間を3か年から5か年に変更。											
(2) 直近の改正	平成17年度													
(3) 根拠法令等	吹田市第3次総合計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市第3次総合計画の基本計画において定めた施策											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	基本計画において定めた施策を効果的に実施する												
(7) 事業概要	基本計画において定めた施策を効果的に実施するため、本市が取り組む具体的な事業に関して、5か年の実施計画を策定する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	5	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		25	21	609	529	317							
	人件費	職員数	人	2.25	2.50	2.50	2.50	3.00						
		総額(B)	千円	18,675	19,868	20,880	20,880	24,510						
	総事業費(A+B)		18,700	19,889	21,489	21,409	24,827							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		18,700	19,889	21,489	21,409	24,827							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		18,700	19,889	21,489	21,409	24,827								
財源計(C+D)		18,700	19,889	21,489	21,409	24,827								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	実施計画策定にあたっての査定事業数	目標値	(単位:事業)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:事業)	1,387.00	1,469.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	提出のあった全事業を査定するため目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	12.91	14.57		
				一般財源(単位:千円)	12.91	14.57		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	基本計画において定めた施策を効果的に実施する。	達成状況	適切な手続きを経て実施計画を策定することで施策の効果的な実施に寄与している。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	第3次総合計画の実現に向け、基本計画において定めた施策を効果的に実施するため、本事業は必要不可欠なものである。 福祉と医療、教育・文化・スポーツ、高質で安全なまちづくり、市民力・地域力など、長期的な視点に立ち、政策の重要性に応じた、平成28年度から平成32年度の事業実施を計画した。 引き続き、行政評価や新公会計制度を踏まえながら、次年度以降の実施計画の策定を行っていく。						

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	実施計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01047				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01047
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>総合計画の着実な推進のため、実施計画を策定している。 本事業は、目標及び成果を指標として表すことは難しいが、政策・施策を効果的、効率的に推進するうえでの基本となるものであり、その重要度は大変高いものである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	総合計画啓発事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし(吹田市自治基本条例に策定義務と議決義務が規定されている。)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び市職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	まちづくりを進めるための指針として、市民、事業者、行政が総合計画を共有する												
(7) 事業概要	総合計画の普及のための市民説明会や、総合計画基本計画に基づいた実施計画を策定するための職員研修を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	5	大事業	99	中事業	99	小事業	99
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		26	0	0	0	0							
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	2,075	1,987	0	0	0						
	総事業費(A+B)		2,101	1,987	0	0	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,101	1,987	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,101	1,987	0	0	0								
財源計(C+D)		2,101	1,987	0	0	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 市民説明会の開催件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 平成27年度は実施せず	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	平成26年度からの新規事業。平成26年5月定例会で計画案が否決されたため、今後の方向性を検討した。			目標	
	②	成果内容	今後の方向性を検討し、市民説明会や職員研修については今後の課題となった。			達成状況	今後の方向については検討中。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成26年5月定例会において、第3次総合計画の見直し案が否決されたため、今後の方向性を検討した。第4次総合計画を前倒しで策定することが決定されたため、総合計画の市民への説明会や、職員に向けた啓発については第4次総合計画の策定後に行うこととなった。 第4次総合計画の啓発に向けた取組を進めるにあたっては、計画の策定過程を踏まえたうえでの検討が必要であり、また、説明会等に用いる資料の作成に必要なデータや情報の整理についても、逐次行っていく必要があることから、今後も同計画の策定に向けた取組と並行して、啓発に向けた取組について内部で検討を進めていく必要があると考える。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合計画策啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	01048				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	8	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	66	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	01048
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成26年5月定例会において、第3次総合計画の見直し案が否決されたため、今後の方向性を検討した。第4次総合計画を前倒しで策定することが決定されたため、総合計画の市民への説明会や、職員に向けた啓発については、第4次総合計画の策定後に行うこととなった。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年5月定例会において、第3次総合計画の見直し案が否決されたため、今後の方向性を検討した。第4次総合計画を前倒しで策定することが決定されたため、総合計画の市民への説明会や、職員に向けた啓発については、第4次総合計画の策定後に行うこととなった。</p> <p>市民への説明会や職員に向けた啓発の具体的な方針や手法については、第4次総合計画の策定後、詳細を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

第3次総合計画の策定以降、東日本大震災の発生や経済情勢の長引く低迷などが市民生活にも影響を及ぼし、社会経済状況及び市民ニーズの変化を捉えた対応が各分野において必要となってきた。さらに、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)へ移行する、いわゆる2025年問題など、国全体でますます進展する少子高齢化を見据えた施策の実施が喫緊の課題となっている。また、本市においては、北大阪医療都市(健都)における健康・医療のまちづくりなど、都市としての魅力を向上させる新たな取り組みが進んでいる。

このような状況の中、今後のまちづくりの指針として、速やかに将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	大阪国際空港周辺対策協議会事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正内容	直近の改正(平成28年度)は、大阪国際空港周辺地域活性化連絡会規約のこと。副座長、監事の設置を規程。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	大阪国際空港周辺都市対策協議会規約、大阪国際空港周辺地域活性化連絡会規約													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	2	細節	0							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、事業者、国、加盟市10市											
	結果(どのような効果が得られるのか)	大阪国際空港周辺における安心・安全で良好な生活環境を確保しつつ、空港機能の高質化・利便性の向上を図ることにより、空港と周辺地域の活性化につながる。												
(7) 事業概要	<p>【大阪国際空港周辺都市対策協議会】 事務担当者会議、幹事会、総会などを開催し、大阪国際空港における騒音対策・安全対策の促進及び空港と周辺地域との調和を図るため、運動方針を定め、国等への要望活動を行う。※加盟10市(豊中市、池田市、箕面市、尼崎市、西宮市、宝塚市、川西市、芦屋市、伊丹市、吹田市)</p> <p>【大阪国際空港周辺地域活性化連絡会】 連絡会が主催・共催している事業を通じて、大阪国際空港及び周辺地域の活性化を図る。※加盟7市(池田市、伊丹市、川西市、宝塚市、豊中市、箕面市、吹田市)</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	5	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		180	133	180	128	138							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,330	4,107	4,356	4,304	4,223							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,330	4,107	4,356	4,304	4,223							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		4,330	4,107	4,356	4,304	4,223								
財源計(C+D)		4,330	4,107	4,356	4,304	4,223								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①		大阪国際空港周辺都市対策協議会										
		②		大阪国際空港周辺地域活性化連絡会										
		③		分担金①63,700円②50,000円										
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	国等への要望活動	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00		
		達成度(%)		200.0	200.0			
	目標値の積算方法	協議会が行った国等への要望回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,027.00	1,076.00	
				一般財源(単位:千円)		1,027.00	1,076.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	大阪国際空港年間旅客数	目標値	(単位:人)	13,900,000.00	13,900,000.00
	実績値			(単位:人)	14,620,934.00	14,626,431.00		
	達成度(%)		105.2	105.2				
	目標値の積算方法	平成27年度実績値は「国土交通省大阪航空局利用実績速報」から抜粋。目標値は前年度実績を参考に設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		現状分析のとおり、当該事業の必要性は高く、引き続き継続すべきと考える。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	大阪国際空港周辺対策協議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01049				

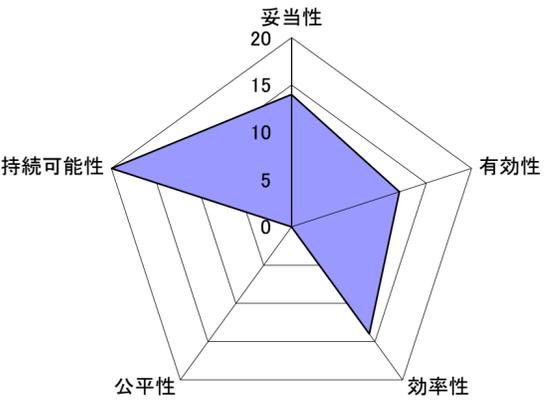
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	01049
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大阪国際空港の安全・環境対策については、国等だけに任せるのではなく、同空港の近隣自治体が連携し監視を行うことが重要である。また、同空港の利便性の向上及び周辺地域との調和・活性化を図ることは周辺自治体のまちづくりの推進にも大きく寄与するものであることから、本事業の意義は大変大きいと考える。また、同空港の近隣自治体としての考え方を集約し、国等と協議していくうえにおいても、本事業は不可欠であると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成24年4月に新関西国際空港株式会社が設立され、同年7月の関西国際空港と大阪国際空港の経営統合により、両空港の一体的かつ効率的な運営が行われた。その後、平成27年12月には、両空港の事業運営権の売却(コンセッション)が決定し、平成28年4月より関西エアポート株式会社(オリックス、ヴァンシ・エアポートコンソーシアムが設立した特別目的会社)が運営を行っている。

事務事業評価調書

事務事業名	地方版総合戦略策定・推進事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するために講ずべき施策												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	基本目標、基本的方向に沿う具体的な施策と重要業績評価指数(KPI)を設定した吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、効果的な施策の推進を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	人口減少・超高齢社会においても持続可能なまちづくりを実現する													
(7)	事業概要	<p>本市の人口の現状と将来の展望を示す人口ビジョンの内容を踏まえて、地方創生を推進するため、平成27年度(2015年度)から5か年の目標や施策の基本的方向を定めた「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年(2016年)3月に策定した。</p> <p>平成28年度以降は、各施策の効果を客観的に検証できるよう重要業績評価指数(KPI)を設定し、効果を検証して改善を行う仕組み(PDCAサイクル)を構築する。なお、効果検証などについては、外部有識者等を含む会議において意見聴取を行う。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	5	大事業	2	中事業	60	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,043	0	0	5,621	77							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40						
			総額(B)	千円	0	0	0	0	3,268						
		総事業費(A+B)		6,043	0	0	5,621	3,345							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		6,043	0	0	5,621	3,345							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	6,043		0	0	5,621	3,345									
財源計(C+D)		6,043	0	0	5,621	3,345									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	6.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 行程によって会議回数については変動も考えられるため、目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	936.83		
			一般財源(単位:千円)	0.00	936.83		
	②	指標内容 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	
実績値			(単位:回)	0.00	2.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法 行程によって会議回数については変動も考えられるため、目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	2,810.50		
			一般財源(単位:千円)	0.00	2,810.50		
(2) 成果指標	①	指標内容 総合戦略に定めた4つの基本目標の数値目標における達成割合	目標値	(単位:%)	0.00	100.00	/
			実績値	(単位:%)	0.00	49.40	
			達成度(%)		0.0	49.4	
	目標値の積算方法 全数値目標の達成割合の平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	113.79		
			一般財源(単位:千円)	0.00	113.79		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>「まち・ひと・しごと創生法」において、市町村は、地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされている。人口減少問題を克服し持続可能なまちづくりを進める上で、地方版総合戦略の策定とその活用は、本市にとっても重要な位置づけにある。今後は、策定した総合戦略に沿って、各施策の効果を検証しながら改善活動を行うサイクルを確立していく。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	地方版総合戦略策定・推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01050				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01050
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度は、「吹田市人口ビジョン」及び「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)」の策定に向け、外部委員を含めた会議の運営、パブリックコメントなどを実施し、本市の実情に応じた効果の高い事業について検討を進め、平成28年3月に策定を完了した。</p> <p>平成28年度は、各施策の効果を検証しながら改善活動を行うなど、策定した総合戦略を活用していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

人口減少問題を克服し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくという喫緊の課題に対し、国、大阪府並びに他の自治体と一体となり、中長期的視点に立って取り組んでいくため、本市でも、総合戦略を推進し、諸課題に取り組む必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	総合計画策定事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市自治基本条例、吹田市議会の議決すべき事件に関する条例						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市総合計画				
	結果(どのような効果が得られるのか)	持続可能な社会を実現することなど、今後のまちづくりの指針として、将来を見据えた新たな総合計画を策定する 市民・事業者など様々な主体と、吹田市の方向性を共有することで、協働のまちづくりを進めることができる					
(7) 事業概要	第3次総合計画(以下「現計画」という。)は、東日本大震災以前に策定したものであり、市民の防災等に対する意識の変化や進展する少子高齢化など、社会経済状況に応じて今日の見直しを行い、将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要があるため、現計画の目標年度である平成32年度を前に、「第4次総合計画」を策定する。						
(8) H27事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	0	0	24,057
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	7.00
		総額(B)	0	0	0	0	57,190
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	81,247
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	24,057
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	24,057	
財源計(C+D)		0	0	0	0	24,057	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	平成26年5月定例会で吹田市第3次総合計画の見直し案が否決となったことを踏まえ、今後の方針を検討した。			目標	今後の方針の検討。
	②	成果内容	第4次総合計画を策定することを決定・表明した。			達成状況	第4次総合計画を策定するという今後の方向が決定された。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成26年5月定例会で吹田市第3次総合計画の見直し案が否決となった。このことを踏まえ、改めて、第3次総合計画の見直しを行うのか、第4次総合計画を前倒しで策定するのかについて、今後の方針を検討した。 結果として、本市における喫緊の課題や、新たな取組の状況への対応が急務となっていることを勘案し、第4次総合計画の策定について、平成28年度から取り組んでいくことを決定・表明した。また、これに向けた予算・人員の要求を行った。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01493				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01493
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成26年5月定例会で吹田市第3次総合計画の見直し案が否決となったことを踏まえ、今後の方針を検討した。現行の第3次総合計画の計画期間の終期は平成32年度であるが、昨今の社会状況、本市における喫緊の課題や、新たな取り組みの状況への対応が急務であることを勘案し、第3次総合計画の見直しを行うよりも、第4次総合計画を前倒しで策定することが適当であるとの判断に至った。平成28年度より第4次総合計画の策定に向けて取り組むことを決定・表明した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>第3次総合計画の見直しをするのか、第4次総合計画を前倒しで策定するのかについて検討した。結果として、第4次総合計画の策定を決定・表明した。また、そのための予算・人員の要求を行った。第4次総合計画策定への具体的な取り組みについては、平成28年度から実施していく予定である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

第3次総合計画の策定以降、東日本大震災の発生や経済情勢の長引く低迷などが市民生活にも影響を及ぼし、社会経済状況及び市民ニーズの変化を捉えた対応が各分野において必要となってきた。さらに、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)へ移行する、いわゆる2025年問題など、国全体でますます進展する少子高齢化を見据えた施策の実施が喫緊の課題となっている。また、本市においては、北大阪医療都市(健都)における健康・医療のまちづくりなど、都市としての魅力を向上させる新たな取り組みが進んでいる。このような状況の中、今後のまちづくりの指針として、速やかに将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要がある。